

令和7年度第1回印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会会議録

1. 開催日時 令和7年6月26日（木） 午後2時00分開会
2. 開催場所 印西市立印旛歴史民俗資料館 学習室
3. 出席者 松原一弘委員、内藤幸一委員、矢嶋毅之委員、山田俊輔委員、早川博史委員
4. 欠席者 なし
5. 事務局 飯島文化振興課長、能勢館長、朝長
6. 傍聴者 なし
7. 次第 （1）令和7年度歴史民俗資料館事業について
8. 要点筆記

進行 只今より、令和7年度第1回印旛歴史民俗資料館運営委員会を開会させていただきます。
はじめに、本日の会議に当たりましては、記録のため、録音をさせていただきますことをご了承お願いいたします。

次に、配布資料の確認をさせていただきます。（配布資料名を読み上げ確認）

続きまして、飯島文化振興課長からご挨拶を申し上げます。

※文化振興課長 あいさつ

進行 ありがとうございました。

次に内藤会長からご挨拶をいただきます。

※会長あいさつ

本日の出席委員は5名中5名で、過半数に達しておりますので会議は成立となります。

進行 それでは、議事に入らせていただきますが、議長は設置運営規則の規定により、内藤会長に議長をお願いします。

また、本会議は、「印西市市民参加条例」第11条第4項及び「同施行規則」第11条の規定に基づき、公開となりますが、傍聴者はございませんのでこのまま進行をさせていただきます。

議長 はい。それでは配布されたお手元の資料に沿って議事を進行していきたいと思います。最初に会議録署名委員の指名ですが、山田委員にお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

議長 それでは、議題1から進めていきたいと思います。事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料に沿って説明】

委員より以前からご意見をいただいているところですが、来館者を増やすために、どのような取り組みができるのか考えをめぐらしているところです。事業を行うには、予算等の面も関わってくるため、今年度すぐには、難しい部分もありますが、知恵と工夫で出来ることから少しずつ実行していこうと動き始めました。まずは、学校との連携から始めてみようと考えました。4月18日、5月9日に印西市教育センターへ相談に行き、アドバイスをいただき、社会科の小学校3、4年生の教科書、副読本の「わたしたちの印西市」、「ふるさと印西学」を研究しました。その後も5月14日に教育センターの先生が資料館に足を運んでくださり、情報交換を行いました。「ふるさと印西学」の巻頭言に記された教育長の言葉は、これからの印西市の歴史文化の軸となるものと考え、情報共有させていただきたく、今回配布させていただきました。また、市民の声も大切にしたいと考えました。廃校になった宗像小学校の看板があるのはおかしいのではないか。資料館へ行くための看板が見えづらいのでは

ないかという声がありました。看板を管理していた教育総務課からおゆるしをいただき、県道から資料館への入口に「印西市立印旛歴史民俗資料館」の案内看板を職員で張替えました。さらに「歴史探訪」をテーマに、冊子の配布とウォーキングの実施を企画しました。能勢館長が印旛村時代に広報いんばに「歴史探訪」を5年に渡り、55回掲載していましたので、館報を復刊させるにあたって、資料館の理解を深めるためにもウォーキング参加者に冊子にして配布したいと考えております。見やすさやバッグへのしまいやすさなどを検討した結果、B5サイズにしました。表紙は、元職員が撮影した、とてもきれいに撮れているいんば地域を代表する印旛沼の写真が見つかりましたので、こちらを表紙としました。そして、ウォーキングについては、「歴史探訪」の「身近な歴史の旅編」と称して、資料館を新住民にあたるニュータウンの方にも知っていただくということで、考えているのが、北総線で電車等でも集まりやすい、印旛日医大駅に集合していただき、いんば地域が見渡せるようにと設置された駅の展望台に上って、地域の説明をし、道中にある文化財、石造物等を学芸員の解説を聞きながら、ウォーキングをする松虫寺中心のコースです。松虫寺の国指定文化財を見せていただけることになりました。また、興味を持っていただき、資料館に足を運んでいただけるように資料館近くの泉福寺と西福寺の名前にもでてくる「福」を感じられるようなコースも学芸員の説明を聞きながら、ウォーキングしながらのコースの二つのコースを考えています。こちらは、内藤会長の参加している歴史愛好会と合同で行えることとなりました。また、参加者に印西愛郷クラブ、しめ縄づくりの講座をやってくださる団体のその会員の岩井猛和さんのご厚意により、小さなわらじのキーホルダーをお配りできる事になりました。先日、実際に歩いて見ましたが、現代からタイムスリップし、歴史に思いを馳せるにはとても良いコースだと思います。周知方法も研究していきたいと思います。今年度は小さなことからですが、令和8年度の市政施行30周年、資料館40周年につながっていくようにしていきたいながら、なにか、記念に残ること、記憶に残ることを行っていきたいと考えています。常設展示についても館報で紹介した民具の展示を始めています。入口付近にある印旛沼の展示もリニューアルの準備を進めています。市民から募った思い出の写真を飾るスペースなども作りたいと思っています。追加展示を館長と学芸員で考えています。説明は、以上です。

議長 事務局から説明がございましたが、この内容に関しまして、ご意見ご質疑などがございましたら、お願いします。

委員 年何回くらいを考えているのか。ウォーキング企画は、今後も続けていくのですか。

事務局 今後も続けて行きたい。少しずつバージョンアップしていきたいと考えています。

事務局 文化財活用という方法では体験、刊行物を作る等があります。今回は、いんば地区中心のウォーキングとマッチングするという方法を考えていますが、印西市には5つの駅があるので、各駅を起点にこれを足掛かりにコースを文化財係で作っていかれたらと思っております。

委員 3キロメートルくらいあるが、各回の年齢層はどのくらいを対象に考えているのですか。

事務局 ベビーカーを押したお母さんにも来てもらいたいし、市民全員が対象として企画しました。

委員 まとめてやってしまうより小出しにしていけると良いのではないかと思います。市原市で地域と歴史をつなぐという事業をおこなっているので、先進事例として、問題点などを聞くと良いのではないのでしょうか。また学校との連携ということでワークシートのようなものもあると良いのではないかと。(ふるさと印西学とわたしたちの印西市を見せる)

事務局 今まで、見学に来る学校で用意されていたので、資料館としては、対応したことはなかったです。今後は他の自治体の資料館を参考にしながら研究していきます。

委員 前回、3月の運営委員会では、ほぼ決まっていなくて、心配していたが、年度変わって4月

から2か月くらいで、よくここまでまとめて、すごいなと思っています。ウォーキングの方の案内役は何人くらいを考えているのですか。

事務局 文化振興課文化財係の学芸員の3人が手伝ってくれるということになっているので、4名くらいで行えるかと思っています。

委員 歴史探訪の案1ですが、いには野を抜けてとなっているが、住宅地の中になるので、いには野小学校の建物がすばらしいということで大学の教授と生徒が見に来たりするので、こちらも見どころかと思います。丑むぐりの池がある松虫姫公園に行くと発見があるのではないかと思います。松虫寺の住職さんにお話しを聞かせていただけると詳しいお話がきけるのではないのでしょうか。

事務局 松虫寺の七仏薬師を見せていただけることになっていますので、その時にすみからすみまでお話いただけるかと期待しております。

議長 新規事業になりますので、やってみてということにはなるかと思いますが、松虫陣屋跡や松虫姫が行水した場所なども残っておりますのでコースの参考にしていただけたらと思います。

議長 それでは、その他ご意見もないようですので、議題の（1）令和7年度歴史民俗資料館事業について」は、ご了承いただくことでよろしいでしょうか。

【意義なし】

ありがとうございます。令和7年度歴史民俗資料館事業については承認されました。

以上を持ちまして、本日の議事は全て終了いたします。皆様のご協力に感謝申し上げ、議長の任を解かせていただきます。

事務局 【その他事務局より】

歴史文化に関するハード面、施設のことをお話しさせていただきます。

印旛歴史民俗資料館、資料整理作業所、歴史資料センター、医科機器資料館の4つが分散されていて集約化ということで、令和4、5年度で歴史文化施設整備計画が出来ましたが、場所や規模が決まっていなかったのですが、4月に企画政策課に公共施設整備推進室というセクションが出来ました。その机上には乗ったわけですが、担当としては、早く歴史文化施設が出来るように優先度があがるよう尽力して行きます。

進行 以上を持ちまして、令和7年度第1回印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会を閉会とさせていただきます。委員の皆様には慎重審議を賜り、大変ありがとうございました。皆様には引き続きよろしくお願いいたします。これで散会とさせていただきます。

令和7年度第1回印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会会議録は
事実と相違ないことを承認する。

令和7年8月8日

印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会
委員 山 田 俊 輔

令和 7 年度 第 1 回印旛歴史民俗資料館運営委員会

日時 令和 7 年 6 月 2 6 日 (木)

午後 2 時開会

場所 印旛歴史民俗資料館学習室

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 文化振興課長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名について
- 5 議 事
(1) 令和 7 年度歴史民俗資料館事業について
- 6 その他
- 7 閉 会

別添資料

資料 1 令和 6 年度印西市立印旛歴史民俗資料館事業報告について

資料 2 令和 7 年度 印西市の教育施策

議事（１） 令和７年度歴史民俗資料館事業について

１ 展示事業

常設展示

旧印旛地域の生活などの暮らしに関する民具などを中心に、考古資料、歴史資料を展示する。

２ 普及事業

（１）学習室の開放（図書の閲覧、市内無形民俗文化財記録映像視聴）

（２）資料の利用

（ア）閲覧・撮影

５月１３日 個人 平賀惣行遺跡、古山遺跡出土石器

５月２２日 個人 山田、狩野健一家文書５８点

（３）講座等の開催

（ア）体験講座

・火起こし体験

実施日：６月２９日（日） 午前１０時～１１時

場所：屋外展示「力石」前

講師：千葉県教育庁文化財課職員 ※土器つと古代“宅配便”事業を利用

対象：小学校高学年以上

募集人数：１５名

参加費：無料

・埴輪（はにわ）をつくろう

実施日：８月２４日（日）午前

場所：学習室

講師：当館職員

対象：小学生以上（小学校低学年は保護者同伴）

募集人数：１５名

参加費：材料費５００円（予定）

・勾玉づくり

実施日：１０月２６日（日） 午前

場所：学習室

講師：千葉県教育庁文化財課職員 ※土器つと古代“宅配便”事業を利用

対象：小学生以上（小学校低学年は保護者同伴）

募集人数：１５名

参加費：材料費３００円

- ・正月飾りづくり

実 施 日：12月20日（土） 午前・午後

場 所：旧宗像小学校体育館

講 師：岩井猛和氏、協力者（印西愛郷クラブ）

対 象：小学生以上

募集人数：計30名（15名／回）

参 加 費：材料費700円（予定）

（イ）資料館講座（4回）

- ・第1回

演 題：印旛沼の成り立ち

講 師：日浦博昭氏（公益財団法人 印旛沼環境基金）

実 施 日：7月27日（日）13時30分から15時30分

- ・第2回

演 題：調整中 時代：江戸時代

講 師：調整中

実 施 日：9月最終土・日のいずれか

- ・第3回

演 題：（仮題）弥生時代とは何か～日本～日本～房総～印西～

講 師：小林崇氏（千葉市埋蔵文化財調査センター）

実 施 日：11月16日（日）13時30分から15時30分

- ・第4回

演 題：調整中

講 師：調整中

実 施 日：1月下旬（予定）

（4）刊行物

（ア）刊行物

- ・研究紀要 第8号刊行予定（400部）

内容 吉高・立田台第2遺跡出土埴輪の再検討

- ・館報 第14号刊行予定（復刊・500部・無料配布）

平成12年3月を最後に刊行が途絶えていたが、広報いんざいに執筆中のタイムスリップ・インザイが10月1日号より3か月に1回の掲載に変更されることから、館報を通して情報を提供する。

印旛歴史民俗資料館、印旛支所、印旛公民館、そうふけ公民館、コスモスパレット、印旛日本医大駅、千葉ニュータウン中央駅、いんざい牧の原駅、印西市観光情報館で配布。

市ホームページに掲載、スクリレで配信。

(イ) 頒布

無償頒布

研究紀要第7号 関係機関、関係者へ送付（225か所）

有償頒布

研究紀要第7号開始（6月1日より）100部 頒布価格300円

頒布場所 当館、木下交流の杜歴史資料センター、公民館（5館）、
文化振興課

(5) 事業協力

(ア) 印西市生涯学習まちづくり出前講座

講座名「印西の歴史をひもとく」

（文化振興課・木下交流の歴史資料センター・印旛歴史民俗資料館共通）

「むかしのくらしを学ぼう～民俗資料にふれる」（文化振興課・印旛歴史民俗
資料館

(イ) 広報いんざい 毎月1日発行号

「タイムスリップ・いんざい」執筆 ～9/1号まで

木下交流の杜歴史資料センターと交互に執筆

NO.32 火のし～グローバルなアイロン（5月1日号）

NO.34 つるべと井戸～大変だった水汲み～（7月1日号）

(ウ) 全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業「関東考古学
フェア」（6月14日～11月24日）

(エ) 小・中学校

児童・生徒の調べ学習や教員への助言等協力する。（随時）

3 資料収集事業

(1) 寄託・寄贈受付

(2) 地域の考古、歴史、民俗等に関する各種資料の収集（図書資料含む）

4 整理・保管事業

(1) 収蔵資料台帳の整備

・瀬戸・岡田忠篤家、印旛村移管文書（資料）、六合小学校旧蔵資料、令和6年度
受け入れ資料等

・文化財資料データベース化作業（令和7年度開始、文化振興課文化財係担当）

(ア) 瀬戸・岡田忠篤家文書

対象資料：①行李入りの古文書、近世～近代

②整理済 5, 829点

作業の概要：①資料の清掃、内容把握、目録、記述作業（平成31年度開始）

②内容把握、目録修正

実施日：原則第3、4土曜日（4月25日、26日、5月17日、31日）

実施者：小池康久氏（元職員）ほか1名

（2）収蔵庫の整理

（3）館内温湿度管理

（ア）温湿度記録

（イ）資料燻蒸の実施

内容：未燻蒸資料の持ち込み燻蒸

時期：8月下旬頃

5 調査研究事業

（1）石造物調査 計12日

対象：印旛地区 1, 363基（概数）

内容：現地調査位置確認、記載内容記録、計測、撮影など

調査指導：白井豊氏（元千葉県立中央博物館研究員、房総石造文化財研究会会員）

その他：令和5年度開始

（2）市内出土埴輪資料の調査

実施日：4月18日～20日、7月4日～6日

内容：収蔵資料のうち未報告資料の資料化、分析、報告済み資料
（吉高山王古墳）の再検討

協力者：犬木努氏（大阪大谷大学教授）

（3）市内出土瓦塔資料の調査

内容：岩戸西方出土瓦塔実測図の修正等

協力者：池田敏宏氏（高野山大学大学院）

（4）随時調査

実施日：4月16日

内容：吉田・古写真の調査（昭和20年竣工の捷範橋など）

実施日：5月1日

内容：萩原・古資料の調査（青年団の第1号会報誌、古写真など）

実施日：6月11日（継続中）

内容：大森・個人宅マデ屋の調査（古時計、信仰関係の掛軸、農具など）

その他：文化財係と合同

実施日：6月12日（継続中）

内容：大森・個人宅の調査（古写真、玩具、雑誌、教科書、文書、農具など）

6 運営

（1）開館日数

285日

(2) 会議

印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会の開催（年2回）

第1回 令和7年6月26日

第2回 令和8年3月頃

資料 1

令和 6 年度印西市立印旛歴史民俗資料館事業報告

1 展示事業

常設展示

旧印旛地域の生活などの暮らしに関する民俗資料を中心に、考古資料、歴史資料を展示

2 普及事業

(1) 学習室の開放（図書の閲覧、市内無形民俗文化財記録映像視聴）

(2) 資料の利用

(ア) 貸出 4 件（展示、撮影、掲載と重複あり）

・千葉県立中央博物館

資料名 瀬戸・岡田忠篤家文書ほか 10 点（太平洋戦争関係資料）

目 的 常設展示

期 間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

※平成 23 年度から毎年更新

・市原市教育委員会（市原歴史博物館）

資料名 大木台 2 号墳出土埴輪 4 点

大木台 2 号墳写真 2 点

目 的 令和 6 年度特別展

「旅する埴輪-房総の埴輪にみる地域間交流-」のため

期 間 資料 令和 6 年 8 月 20 日～令和 7 年 1 月 17 日

写真 令和 6 年 7 月 9 日～令和 6 年 12 月 15 日

・公益財団法人 印旛郡市文化財センター

資料名 平賀惣行遺跡 石錐 1 点

萩原長原遺跡 紡錘車・壺形土器など 5 点

吉高浅間古墳 鉄製楕円形鏡板付轡 1 点

目 的 公益財団法人 印旛郡市文化財センター 40 周年記念企画展における
展示のため

期 間 令和 6 年 9 月 20 日～令和 7 年 9 月 30 日

・個人

資料名 油作第一遺跡 黒曜石製石器 74 点

目 的 産地同定及び産地同定結果の論文執筆のため

期 間 令和 7 年 1 月 31 日～令和 7 年 4 月 30 日

(イ) 展示 3 件 (貸出・撮影・掲載と重複あり)

・千葉県立中央博物館

資料名 瀬戸・岡田忠篤家文書ほか 10 点 (太平洋戦争関係資料)

目 的 常設展示

期 間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 3 1 日

※平成 23 年度から毎年更新

・市原市教育委員会 (市原歴史博物館)

資料名 大木台 2 号墳出土埴輪 4 点

大木台 2 号墳写真 2 点

目 的 令和 6 年度特別展

「旅する埴輪-房総の埴輪にみる地域間交流-」のため

期 間 資料 令和 6 年 8 月 20 日～令和 7 年 1 月 17 日

写真 令和 6 年 7 月 9 日～令和 6 年 12 月 15 日

・公益財団法人 印旛郡市文化財センター

資料名 平賀惣行遺跡 石錐 1 点

萩原長原遺跡 紡錘車・壺形土器など 5 点

吉高浅間古墳 鉄製楕円形鏡板付轡 1 点

目 的 公益財団法人 印旛郡市文化財センター40 周年記念企画展における
展示のため

期 間 令和 6 年 9 月 20 日～令和 7 年 9 月 30 日

(ウ) 閲覧 4 件

・個人

資料名 旧印旛村ナマズ関連資料 5 点

目 的 新聞記事作成のため

期 間 令和 6 年 6 月 27 日

・個人

資料名 油作第一遺跡 黒曜石製石器 74 点

目 的 黒曜石産地分析事前調査

期 間 令和 6 年 9 月 29 日

・個人

資料名 平賀惣行遺跡 旧石器一式

目 的 学術調査

期 間 令和 7 年 3 月 7 日

・千葉県教育振興財団

資料名 大木台 2 号墳出土埴輪 6 点

目 的 令和7年度出土遺物公開事業に借用して展示するとともに撮影して
ポスター・チラシ・図録・パネル等に掲載するため、事前
に資料を熟覧するため

期 間 令和7年3月11日

(エ) 撮影 3件（貸出・閲覧・掲載と重複あり）

・市原市教育委員会（市原歴史博物館）

資料名 大木台2号墳出土埴輪 4点

大木台2号墳写真 2点

目 的 令和6年度特別展

「旅する埴輪-房総の埴輪にみる地域間交流-」のため

期 間 資料 令和6年8月20日～令和7年1月17日

写真 令和6年7月9日～令和6年12月15日

・個人

資料名 平賀惣行遺跡 旧石器一式

目 的 学術調査

期 間 令和7年3月7日

・千葉県教育振興財団

資料名 大木台2号墳出土埴輪 6点

目 的 令和7年度出土遺物公開事業に借用して展示するとともに撮影して
ポスター・チラシ・図録・パネル等に掲載するため、事前
に資料を熟覧するため

期 間 令和7年3月11日

(オ) 掲載 1件（貸出・展示・撮影と重複あり）

・市原市教育委員会（市原歴史博物館）

資料名 大木台2号墳出土埴輪 4点

大木台2号墳写真 2点

目 的 令和6年度特別展

「旅する埴輪-房総の埴輪にみる地域間交流-」のため

期 間 資料 令和6年8月20日～令和7年1月17日

写真 令和6年7月9日～令和6年12月15日

(カ) 複製 0件

(キ) その他 0件

(3) 講座等の開催

(ア) 体験講座

・火起こし体験

実施日 令和6年6月30日（日） 午前10時～11時
場所 屋外展示「力石」前
講師 西村壇氏（千葉県教育庁文化財課 上席文化財主事）
対象 小学生以上、2人1組で参加できる人
募集人数 10組20名
参加者 6組12名
参加費 無料
その他 土器ッと古代“宅配便”事業を利用

・埴輪（はにわ）をつくろう

実施日 令和6年8月20日（日） 午前10時00分～11時30分
場所 学習室
講師 倉田龍太郎氏（印旛歴史民俗資料館学芸員）
藤田ミチル氏（印旛歴史民俗資料館実習生）
対象 小学生以上
募集人数 6組
参加者 4組10名
参加費 無料

・勾玉づくり

実施日 令和6年10月27日（日） 午前10時00分～11時30分
場所 学習室
講師 千葉県教育庁文化財課・西村壇氏
対象 小学生以上
募集人数 20名
参加者 3組 8名
参加費 材料費300円
その他 土器ッと古代“宅配便”を利用

・正月飾りづくり

実施日 令和6年12月21日（土）
・午前 10時00分～12時
・午後 1時30分～3時30分
場所 旧宗像小学校体育館
講師 岩井毅和氏（印西愛郷クラブ）
協力者（印西愛郷クラブ） 8名
対象 市民
募集人数 各回15人計30名

参 加 者 計 2 3 名（午前 1 1 名、午後 1 2 名）

参 加 費 材料費 7 0 0 円

（イ）資料館講座（3 回開催）

・第 1 回

演 題 印旛沼の成り立ち

講 師 日浦博昭氏（公益財団法人 印旛沼環境基金 主任研究員）

実 施 日 令和 6 年 7 月 2 8 日（日）午後 1 時 3 0 分～3 時 3 0 分

場 所 学習室

対 象 市民

募集人数 2 0 名

参 加 者 9 名

参 加 費 無料

・第 2 回

演 題 オビシヤ行事とは何かー400 年続くムラの年頭祭礼の意味ー

講 師 榎美香氏（千葉県立中央博物館 資料管理課 課長）

実 施 日 令和 6 年 9 月 2 1 日（日）午前 1 0 時 0 0 分～正午

場 所 学習室

対 象 市民

募集人数 2 0 名

参 加 者 1 1 名

参 加 費 無料

・第 3 回

演 題 香取秀真（かとりほつま）故郷を詠む

講 師 外山信司氏（印西市史編さん専門委員、印西市文化財審議委員、
千葉市立郷土博物館総括主任研究員）

実 施 日 令和 7 年 1 月 1 9 日（日）午後 2 時 0 0 分～4 時 0 0 分

場 所 印旛公民館 大会議室（瀬戸 1 5 1 8）

対 象 市民

募集人数 5 0 名

参 加 者 3 5 名

参 加 費 無料

（４）博物館実習の実施

実施期間：令和 6 年 8 月 1 6 日（火）～2 1 日（水）

受入数：1 名

(5) 刊行物

(ア) 刊行

研究紀要第7号 39頁 (令和7年3月28日発行)

【論文】犬木努「龍角寺101号墳 形象埴輪配置の再検討
—印旛沼東岸域の分析事例として—」

【年報】令和5年度印旛歴史民俗資料館事業概要

(イ) 頒布

無償頒布

研究紀要第6号 関係機関へ送付 (225か所)

有償頒布

頒布場所 当館ほか市内社会教育施設、市役所計9か所

研究紀要第6号頒布開始 100部 300円/部

(ウ) その他

広報いんざい毎月1日号「タイムスリップ・インザイ」執筆
(木下交流の杜歴史資料センターと交互に執筆)

No.20 暮らしの移り変わり～洗濯～ (令和6年5月1日号)

No.22 古くて新しい民具 蚊帳 (令和6年7月1日号)

No.24 箱枕～時代劇のあの枕～ (令和6年9月1日号)

No.26 囲炉裏と自在鉤ー火加減 驚異のメカニズム (令和6年11月1日号)

No.28 絵馬に込めた願い (令和7年1月1日号)

No.30 忘れられた道路元標 (令和7年3月1日号)

(6) 事業協力 3件

- ・「第10回印西市民ウォークラリー大会」(令和6年5月19日(日)・旧宗像小学校。主催：印西ロータリークラブ 後援：印西市・印西市教育委員会)のチェックポイントとして
- ・全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業「関東考古学フェア2024」(令和6年6月8日(土)～令和6年11月24日(日))
- ・「我孫子市・柏市・印西市 3市周遊デジタルスタンプラリー」
(令和6年10月1日(火)～令和7年1月31日(金))

(7) その他 0件

3 資料収集事業

(1) 寄贈 2件

本埜小林・個人 4点 (消防ポンプ・付属ホース3点)

別所・個人 3点 (机・椅子・置台)

(2) 収蔵資料数

収蔵資料数	65,733点 (未整理含まず)
民俗資料	4,656点
歴史資料	24,067点
考古資料	2,015箱
動物資料 (剥製等)	25点
植物資料	84点
地学資料	726点
その他資料	2点
二次資料	
図書資料	18,309冊
令和6年度	578冊
写真資料	538冊
記録資料	421点

4 整理・保管事業

(1) 館内温湿度管理及び虫菌害防除管理

(ア) 温湿度記録

測定場所 5か所 (収蔵室、特別収蔵室、展示室、学習準備室、会議室)

(イ) 資料燻蒸の実施

内 容 未燻蒸資料の持ち込み燻蒸 129件

実施期間 令和6年8月20日 (日) ～ 8月27日 (日)

(2) 所蔵古文書整理

整理資料群 瀬戸・岡田忠篤家文書

資料の概要 ①行李入りの古文書、近世～近代

② (財) 千葉県史料研究財団、千葉大学教授整理分 3,504点

作業の概要 ①平成31年度作業開始

資料の清掃、内容把握、目録、記述作業 95点

②内容把握、目録修正

実施日 ①②20回 (4月19・20日、5月17・18日、6月15・22日、
7月19・20日、8月16・17日、9月20・21日、
10月19日、11月15・16日、12月20・21日、
1月18・25日、2月15日)

実施者 ①②当館職員ほか2名

5 調査研究事業

(1) 石造物調査（印旛地区）

実施日 16回（4月24日、5月1・8・15・21・29日、
6月4・11・18・26日、7月2・9・23・30日、
8月7日、12月11日）

内 容 過去の調査データ整理

調査者 白井豊氏、蕨由美氏

(2) 吉田・西ノ原古墳群出土埴輪

実施日 3回（令和6年6月7日～9日、令和6年12月15日～17日、
令和7年2月20日、22日）

内 容 吉高山王古墳出土埴輪の実測、拓本ほか

協力者 犬木努氏（大阪大谷大学教授）

(3) 資料調査 2件

本埴小林・個人宅 令和6年8月23日 民俗資料

別 所・個人宅 令和6年11月10日 民俗資料

(4) 民俗行事取材 1件

平賀・来福寺護摩行 令和6年7月7日

6 運営

(1) 入館者・開館日数

入館者数 808人

開館日数 285日

(2) 会議

印西市立印旛歴史民俗資料館運営委員会の開催（年2回）

第1回 令和6年7月17日（金）

（1）令和6年度歴史民俗資料館事業について

第2回 令和7年3月14日（金）

（1）令和6年度歴史民俗資料館事業報告について

（2）令和7年度歴史民俗資料館事業計画（案）について

令和7年度

印西市の教育施策

印西市教育委員会

は じ め に

印西市においては、将来都市像を「住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで」と定めた「印西市基本構想」の実現を進めています。

また、令和２年度に「総合教育会議」において、教育行政の現状や課題について協議し、市の最上位計画である総合計画との整合を図りつつ、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策である「教育大綱」（令和３年度から令和７年度）を定め、本年度が最終年度になります。

こうした中、教育委員会では、令和３年度に策定した第２期教育振興基本計画（令和４年度から令和７年度）において、引き続き将来都市像の実現に向けた政策の一つである「子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちをつくります《子育て・教育・文化》」の推進を図っていきます。

市を取り巻く状況が変わる中、前年度事業の点検と評価を行うとともに、第２期教育振興基本計画を踏まえ、子どもから高齢者に至るすべての市民が心身ともにたくましく健康で明るい生活が送れるよう様々な事業を展開していきます。

つきましては、第２期教育振興基本計画の基本理念「だれもが輝きともにばたく いんざいの学び」に基づき、主な事業を次のように定めます。

印西市基本構想

将来都市像

住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで

将来都市像実現のための政策

- 1 誰もが安心して健康で明るく暮らせるまちをつくります《安全・安心・健康福祉》
- 2 子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちをつくります《子育て・教育・文化》
- 3 地理的優位性をいかした活力あふれるまちをつくります《産業・交流》
- 4 自然と都市が調和する快適で人にやさしいまちをつくります《まちづくり・生活環境》
- 5 市民と行政が力を合わせ持続可能なまちをつくります《住民自治・協働・行財政》

印西市教育大綱

第2期印西市教育振興基本計画

教育の基本理念 【だれもが輝き ともにはばたく いんざいの学び】

基本方針

- 1 学校・家庭・地域が連携強化し、未来を拓く子どもを育む教育の推進
- 2 市民が学びあい・活かしあい、地域に誇りと愛着が持てる学びの推進
- 3 すべての市民の健やかな心と体を育む学びの推進

基本目標

- I 知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む（学校教育）
- II 子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境を充実させる（教育環境）
- III 市民が様々な文化や芸術に触れることができるとともに、先人の残した文化遺産の価値や意義を次世代に適切に継承する（文化・芸術）
- IV 市民が生涯を通して学ぶことができるとともに、地域で子どもたちを守り育てる（生涯学習・青少年健全育成）

I 知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

「学ぶ力・豊かな心・健やかな体」をバランスよく育むとともに、自らの能力を引き出し、習得したことを活用して、様々な課題に対し主体的に解決できる児童生徒を育成する必要がある。

「学ぶ力」の育成として学力の向上を中心にすえ、児童生徒の個性を伸ばす教育を推進し、言語能力や情報活用能力、英語教育や特別支援教育、幼児教育など現代的な諸課題に求められる資質・能力の育成に努める。また、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、職員研修の充実と指導方法の工夫改善を図る。

「豊かな心」の育成として道徳科を要とし、「考え、議論する道徳」への転換を図るとともに、音楽活動や芸能鑑賞、体験活動を通して豊かな情操を育む。また、児童生徒個々の心身の発達や特性に即した児童生徒理解と教育相談を充実させ、いじめや不登校などへのきめ細かな支援と組織的な対応に努める。

「健やかな体」の育成として体育授業の充実や部活動支援により、児童生徒の体力の向上を図る。また、健康診断や保健指導を実施し、学校環境衛生の改善に努めるとともに、食に関する指導を推進し、安心・安全で栄養バランスのとれた給食を提供する。

参考：第2期印西市教育振興基本計画（令和4年度～令和7年度）の成果指標

項目	目標(R7)
全国学力・学習状況調査における全国平均 100 に対する相対	103
※学校評価（豊かな心に関する 2 項目）における児童生徒の肯定的回答率（％）	97
体力テストにおいてTスコア（偏差値）が満足できると判定された項目の割合（％）	70

※学校評価（豊かな心に関する 2 項目）

○友達への思いやり（あなたは、友達を大切にしていますか。）

○道徳・心の教育の充実（あなたは、自他のいのちを大切に、感謝の気持ちを持って生活していますか。）

Ⅱ 子どもたちが安全で安心できる生活を送り、健やかに成長できるよう、教育環境を充実させる〔教育環境〕

児童生徒が増加する本市において、子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設や教育環境を継続的に整える必要がある。

また、現在の情報化社会に対応するため、情報活用能力の向上の取組を充実させることが求められている。

教育環境の整備として学校施設等の改修や学級増に対応した増築などを行うとともに、児童生徒の就学などに対する経済的支援や学校現場でのきめ細やかな指導・支援を実現するための人材確保及び適切な人員配置を行う。

また、学校規模により生じる教育指導上及び学校運営上の課題を解消し、教育の質の向上を図るため、通学距離や地域特性などに配慮しながら、学校の適正規模・適正配置を推進する。

情報化社会に対応した教育として国が提唱するGIGAスクール構想、令和7年度からの印西市教育DX推進計画に則り、児童生徒が適切な情報を選択し活用することができるよう情報活用能力の向上を図る。

さらに、信頼される学校づくりとして児童生徒が様々な危険を予測・回避し安全に行動する意識の定着を図る。また、家庭や地域に対し学校の状況を積極的に情報発信するなど、学校・家庭・地域の連携・協働を推進する。

参考：第2期印西市教育振興基本計画（令和4年度～令和7年度）の成果指標

項目	目標(R7)
※学校評価(家庭・地域連携に関する項目について)における保護者の肯定的回答率(%)	81
※学校評価(家庭・地域連携に関する項目について)における児童生徒の肯定的回答率(%)	88
※学校評価(学校の施設・設備に関する項目について)における保護者・児童生徒・教職員の肯定的回答率(%)	80

※学校評価(家庭・地域連携に関する項目について：保護者)

○家庭や地域との連携・協力(学校は、市の地域や環境・施設・人材を教育活動にいかしていると思いますか。)

※学校評価(家庭・地域連携に関する項目について：子ども)

○家庭や地域との連携・協力(保護者や地域の人と行う活動は充実していますか。)

※学校評価(学校の施設・設備に関する項目について：保護者・児童生徒・教職員)

○施設設備の改善・充実(学校の施設・設備は整っていると思いますか。)

Ⅲ 市民が様々な文化や芸術に触れることができるとともに、先人の残した文化遺産の価値や意義を次世代に適切に継承する〔文化・芸術〕

市民の豊かな心や地域に対する関心の醸成を図るため、自主的な文化・芸術活動を支援するとともに、様々な文化や芸術に触れることができる取組を実施する。

また、本市の歴史や文化財は先人の残した文化遺産であり、その価値や意義を踏まえ次世代に継承するため、地域の伝統芸能の継承、文化財の保護や公開、活用事業などを推進する。

また、印西市史編さん事業基本方針に基づき、引き続き市史編さん事業を進め、市史を刊行するとともに、市民の活動の記録を次世代に継承するため地域史料の保存と活用を図る。

参考：第2期印西市教育振興基本計画(令和4年度～令和7年度)の成果指標

項目	目標(R7)
文化・芸術に満足している人の割合(%)	39
無形民俗文化財の指定数(件)	6
文化財の指定件数(件)	49
文化ホールの自主事業数(事業)	12

Ⅳ 市民が生涯を通して学ぶことができるとともに、地域で子どもたちを守り育てる〔生涯学習・青少年健全育成〕

子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現につながる生涯学習の環境づくりが求められている。

また、生涯学習を通じて、地域への愛着を生み、地域づくりのための社会参加を促すことや学習成果を地域に還元できるような支援、活動の場となる生涯学習施設の整備が必要である。

さらに、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育み、子どもたちが安全で安心な環境で健やかに成長できるよう、学校・家庭・地域の連携を図り、青少年の健全な育成に向けた活動を推進する必要がある。

多様な学習機会の提供として生涯学習ガイドやホームページによる生涯学習情報の提供や市民アカデミーや出前講座、各公民館主催事業で多種多様な学習機会の提供を行うとともに人づくり地域づくりにつながる学習内容を工夫する。また、大学や企業などと連携・協力し、市民の学習機会の充実を図る。

図書館サービスの充実として図書館が地域における情報やコミュニティの拠点として市民生活に役立つ施設になるよう従来の来館型サービスのほか、電子書籍の提供など非来館型サービスの充実を図り、誰でも利用しやすい施設の在り方などについて調査・研究を行う。また、子どもの読書活動を推進する。

生涯学習施設の整備・充実として計画的な改修等により、施設機能の充実を図るとともに地域の実情に合ったサービスを展開する。

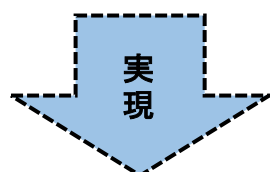
家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成として家庭教育学級や講座を開設し、子どもの発達・成長段階に応じた情報提供や課題の解決に向けた自発的な取組を支援する。また、学校・家庭・地域の連携を推進し、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図る。

参考：第2期印西市教育振興基本計画（令和4年度～令和7年度）の成果指標

項目	目標(R7)
生涯学習に関して満足している人の割合(%)	39
図書館個人登録率(%)	31
公民館の貸部屋の年間利用率(%)	45

印西市の教育施策の体系

基本理念	だれもが輝き ともにばたく いんざいの学び
基本方針	1 学校・家庭・地域が連携強化し、未来を拓く子どもを育む教育の推進 2 市民が学びあい・活かしあい、地域に誇りと愛着が持てる学びの推進 3 すべての市民の健やかな心と体を育む学びの推進



基本目標		主な取組	
I	知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む（学校教育）	1	子どもたちの学ぶ力を育む
		2	子どもたちの豊かな心を育む
		3	子どもたちの健やかな体を育む
II	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境を充実させる（教育環境）	1	教育環境整備の充実
		2	学校の適正規模・適正配置の推進
		3	情報化社会に対応した教育の推進
		4	信頼される学校づくり
III	市民が様々な文化や芸術に触れることができるとともに、先人の残した文化遺産の価値や意義を次世代に適切に継承する（文化・芸術）	1	文化・芸術活動の推進
		2	文化財の保護・活用の推進
		3	市史編さん事業や地域史料の保存
IV	市民が生涯を通して学ぶことができるとともに、地域で子どもたちを守り育てる（生涯学習・青少年健全育成）	1	多様な学習機会の提供
		2	図書館サービスの充実
		3	生涯学習施設の整備・充実
		4	家庭と地域の教育力向上と青少年の健全育成

I 知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

1 子どもたちの学ぶ力を育む（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 個性や能力を伸ばす教育の推進★	○学級経営相談支援の実施 ○漢字級別認定テスト「印西漢字マスター」の実施 ○社会科副読本「わたしたちの印西市」の編集、ワークテストの作成及び活用 ○生徒指導の機能を重視した「わかる授業」展開の推進 ○基礎学力向上のための取組の推進 ○ICTを基盤とした個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ○学校支援ボランティア・学生ボランティアの活用（順天堂大学、秀明大学、日本医科大学看護専門学校等との連携） ○教職インターンシップ「あすなる先生」の派遣（秀明大学との連携） ○デジタル教材の効果的な活用
2 教職員研修（主任・層別等）の充実	○教務主任研修会の開催 ○情報教育研修会の開催 ○国際理解教育担当者研修会の開催 ○学校図書館担当者研修会の開催 ○体育主任研修会の開催 ○安全主任研修会の開催 ○養護教諭研修会の開催 ○特別支援教育コーディネーター研修会の開催 ○教育相談研修会の開催 ○講師対象研修会の開催 ○会計年度任用職員研修会の開催 ○ICT活用に関する研修の実施
3 指導法等の研修の充実★	○学習指導法等に関する研修会の開催 ○教科教材研究等に関する研修会の開催 ○道徳教育授業研修会の開催 ○実技研修会の開催 ○ICT実技研修会及びICT活用研修会の開催 ○特別支援教育研修会の開催 ○授業相談支援の実施 ○各種出前授業の開催
4 校内研修の支援	○授業研修での指導・助言 ○ICT活用研修の支援 ○教科指導法の指導・支援
5 教育課題調査・研究・開発	○学力調査と活用 ○教育に関する調査・研究・開発 ○研究校等、特色ある教育活動への支援 ○教材の研究開発
6 教育研究団体支援事業	○教職員による自主講座の開催 ○本市教育研究会への指導・助言 ○各研究団体の活動支援
7 幼児教育の充実	○組織的・計画的な園内研修の推進 ○職場見学や体験を通しての交流

8 読書活動推進のための学校図書館の整備	○子ども発達センターや子ども家庭課等との連携 ○相談支援ファイルを活用した早期就学相談の実施 ○幼保小の架け橋プログラムの実施に向けた連携 ○学校図書館システムの活用による学校間貸出の推進 ○計画的な図書資料の選定と購入、廃棄 ○蔵書点検の実施 ○学校司書の適切な配置 ○学校司書連絡会の定期的な開催
9 市立図書館との連携事業の開催	○学校図書館担当者会議、学校司書連絡会での情報交換 ○市立図書館からの団体貸し出しの利用促進 ○スクール便貸出事業
10 国際理解教育（外国語教育）の推進★	○外国語指導助手（ALT）及び日本人英語教育コーディネーターの活用 ○日本語指導員の派遣 ○小学校中学年の外国語活動及び高学年の外国語科の充実 ○小学校低学年における国際理解教育の推進 ○イングリッシュアカデミーホップ（小学3・4年生対象の英語研修会）の実施 ○イングリッシュアカデミーステップ（小学5・6年生対象の英語研修会）の実施 ○イングリッシュアカデミージャンプ（中学生対象の海外派遣研修）の実施 ○英語コミュニケーション能力検定「印西英語マスター」の実施 ○小中学校で連携した外国語教育の推進
11 特別支援教育及び支援体制の充実	○個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用 ○学習指導員及び支援員の配置 ○校内支援体制の充実 ○巡回相談の実施 ○専門家チームの活用 ○家庭、医療、関係機関等との連携 ○市教育支援センターとの連携 ○特別支援教育に関する研修会の開催 ○コスモスファイルを活用した児童生徒理解 ○インクルーシブ教育の推進 ○医療的ケア看護職員の配置
12 教育支援の推進	○教育支援委員会の開催 ○早期就学相談の実施 ○関係各課担当者会議の実施
13 キャリア教育の推進	○中学校職場体験学習（印西市生き活き体験）の実施 ○地域の企業、職業人との連携 ○キャリア・パスポートへの支援

2 子どもたちの豊かな心を育む（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 道徳教育の充実★	○道徳教育全体計画の改善と校内推進体制の充実 ○道徳教育授業実践研修会の開催
2 人権教育の推進★	○人権教育全体計画の改善と心を育てる教育の充実 ○人権教育研修の実施 ○人権教室の開催 ○いじめに関するアンケートの定期的な実施 ○いじめ問題対策連絡協議会等の開催 ○家庭・地域や関係機関との連携による人権意識の啓発 ○多様性を尊重する人権教育の推進
3 文化・芸術体験事業の充実	○さわやかハートフルコンサートの開催 ○小学校芸術鑑賞教室の開催
4 体験活動の充実	○奉仕等体験活動の実施 ○自然科学体験学習の実施 ○みどりの少年団活動の推進 ○親子体験学習の実施
5 郷土愛を育む教育の推進	○地域学「ふるさと印西学」の実施 ○各小中学校に設置している「歴史資料室」の内容の充実 ○地域資源・地域人材の活用
6 不登校支援事業の推進★	○不登校支援の充実（民間施設への運営補助） ○市教育支援センター連絡会の実施 ○校内教育支援センターの開設
7 教育相談の充実	○面接相談・電話相談の充実 ○不登校児童生徒等の相談の充実 ○関係機関との連携 ○訪問指導の充実 ○スクールカウンセラー等の活用 ○学校の諸問題に対する助言・指導

3 子どもたちの健やかな体を育む（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 学校体育の充実★	○体育主任会議の開催 ○小学校駅伝競走大会の開催 ○中学校武道学習における外部指導者の活用 ○授業や大会等における順天堂大学との連携強化 ○運動に親しむ能力を育成するための授業改善指導 ○体力・運動能力調査の集計・分析
2 運動部活動の充実	○部活動サポート事業による指導者派遣 ○部活動補助金交付事業による経済的支援 ○部活動の適切な運営に向けた指導・助言 ○休日部活動の地域移行モデル事業の実施
3 健康教育の推進	○保健指導教材の整備 ○薬物乱用防止教育の推進 ○養護教諭、助産師、保健師等による性に関する指導の実施（小学6年生、中学3年生対象） ○学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携

4 学校保健会の活動の充実	○各部会（小児生活習慣病予防、歯科保健、アレルギー対策、感染症対策等）及び研修会（学校薬剤師、養護教諭、栄養教諭等）の活動の支援 ○「印西市の学校保健」（小冊子）と学校保健会報の発行
5 健康診断の実施と事後措置の徹底	○就学前児・児童・生徒の健康診断の実施 ○健康診断結果の集計と分析 ○個別指導の充実（治療勧告）
6 小児生活習慣病の予防	○学校医、養護教諭、栄養教諭等による小児生活習慣病予防検討部会の開催 ○小児生活習慣病予防検診の実施（小学5年生、中学1・3年生対象） ○養護教諭、栄養教諭等による小児生活習慣病予防教室及び事後指導・個別相談の実施
7 口腔衛生事業の推進	○学校歯科医、養護教諭、歯科衛生士等による学校歯科保健検討部会の開催 ○学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施
8 保健室機能の充実	○保健室の整備 ○健康相談の実施
9 学校環境衛生の充実と感染症対策の徹底★	○環境衛生検査（水質検査、照度検査、空気検査等）の実施 ○学校医・学校薬剤師等との連携による衛生管理体制の整備 ○環境衛生を良好に保つための適切な消毒や清掃の実施
10 食に関する指導の推進	○「印西市食育ミニマム」や食に関する指導の全体計画に基づいた組織的な指導 ○栄養教諭、養護教諭、学級担任等の連携による食育指導 ○栄養教室（全小学校1・3年生）・食育の授業の開催（希望による小学校2・4・6年生に実施） ○小児生活習慣病予防教室の開催（小学校5年生・中学校1年生対象） ○家庭・地域と連携した食育の推進 ○ちば食育ボランティア、ちば食育サポート企業の活用 ○給食レストランの開催（市民対象）
11 学校給食の充実	○献立の工夫と改善 ○衛生管理の徹底 ○給食残渣等の再資源化 ○食物アレルギーへの対策及び食物アレルギー対応給食の提供 ○児童生徒の学校給食費無償化 ○食物アレルギー等の児童生徒の学校給食費相当額の助成

Ⅱ 子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境を充実させる（教育環境）

1 教育環境整備の充実（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 安全な学校・幼稚園施設等の充実★	○印西市学校施設長寿命化計画に基づく改修工事及び校舎増築工事 ○学校給食センターの老朽化への対応 ○管理・教材備品等の整備 ○西の原中学校区における新設校整備事業
2 就学援助の充実	○経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に就学援助を実施
3 修学旅行費補助事業	○小中学校が実施する修学旅行に際し、保護者が負担する費用の一部を補助
4 通学費補助事業	○小中学校への通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対し、定期乗車券分を全額補助
5 スクールバスによる通学支援	○指定校への通学が遠距離又は危険な通学路を回避できない児童に対する通学支援として、スクールバスを運行

2 学校の適正規模・適正配置の推進

事業	事業内容
1 学校の適正規模・適正配置の推進	○学校の適正規模・適正配置の推進 ○学校適正配置審議会の開催 ○保護者説明会等の実施 ○通学区域審議会の開催

3 情報化社会に対応した教育の推進（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 ICT環境の整備と活用	○教科指導用ICT関連環境整備の充実 ○校務支援システムの機能の充実 ○校務支援システムを活用した学籍、成績、保健等の校務情報化の推進 ○公簿や文書、教育情報の電子化の推進 ○各システムやサーバー・端末等の適正な運用管理 ○学校間グループウェアと文書管理システムを活用した教育関係資料・各種文書の電子化及び共有化 ○学校ホームページ及びメール配信システムの広報的機能強化 ○学校図書館システムの活用推進
2 情報教育の推進★	○教育DX専門官の配置 ○STEAMと情報の活用を統合的に学ぶ情報教育の推進 ○情報セキュリティポリシー遵守の徹底 ○教育CIOの配置、ヘルプデスクの設置 ○教育資料の収集・活用・提供 ○教育センターホームページによる教育広報推進 ○教科等におけるICT活用の推進、ICT支援員の派遣、連携協定に基づく企業の支援を受けた研修の実施

4 信頼される学校づくり（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 安全教育の充実	○交通安全教室の実施（小中学校対象） ○防犯教室の実施（小中学校対象） ○避難訓練の実施（小中学校対象）
2 児童生徒の安全確保	○学校安全に関する計画やマニュアルの見直しと定期的な施設点検の実施に関する指導・助言 ○防犯ブザーの貸与（小学新入生対象） ○自転車通学用ヘルメット貸与（中学新入生対象） ○メール配信システムの活用（小中学校等） ○防災行政無線を活用しての見守り活動の推進 ○安全主任等研修会の開催 ○こども110番の家の推進 ○台風・雷雨・竜巻等自然災害対応安全指導の充実 ○理科薬品の安全管理の指導
3 通学路の安全確保	○印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路安全点検の実施と関係課、関係機関との連携・対応 ○安全マップを活用した児童への安全教育及び保護者・関係機関・関係者との情報共有
4 学校管理下における災害共済給付	○日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入の推奨 ○災害給付手続きに関する学校への情報提供及び指導
5 学校情報公開と地域の連携★	○学校ホームページを活用した学校広報の充実 ○教育センターホームページを活用した各学校の取組の共有化 ○地域人材の活用（学校・家庭・地域の連携） ○学校評価による学校教育の改善 ○学校公開授業の推進
6 働き方改革の推進	○教職員の勤務状況の把握及び改善の指導・助言 ○校務支援システムの活用促進 ○オンライン会議・研修の促進 ○ICカードを活用した出退勤時刻の客観的な把握 ○web フォームを活用した各種調査・アンケートの実施 ○保護者宛文書のデジタル配信 ○中学校への自動採点システムの導入 ○用務員複数配置校の実施

Ⅲ 市民が様々な文化や芸術に触れることができるとともに、先人の残した文化遺産の価値や意義を次世代に適切に継承する（文化・芸術）

1 文化・芸術活動の推進（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 文化・芸術事業の充実	○文化ホール自主文化事業の実施
2 文化・芸術活動の支援★	○市民文化祭の実施 ○市民の地域文化活動への支援 ○文化・芸術団体活動への支援 ○文化・芸術情報の提供
3 子どもたちの文化・芸術活動の充実	○文化・芸術活動体験の実施
4 文化・芸術活動を支える人材育成の推進	○芸術文化協会と連携し、地域の文化・芸術活動を支える人材育成を支援

2 文化財の保護・活用の推進（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 指定文化財保護事業★	○有形文化財、史跡及び天然記念物の保存 ○無形民俗文化財の継承支援 ○文化財の普及啓発
2 文化財基礎調査事業	○仏像調査の調査報告書刊行
3 埋蔵文化財の保護事業	○市内主要遺跡調査の実施 ○埋蔵文化財の取扱い事務及び埋蔵文化財包蔵地の保護 ○道作古墳群等の保存
4 文化財の活用事業★	○有形文化財、史跡及び天然記念物の活用 ○無形民俗文化財の公開 ○埋蔵文化財の活用
5 印旛歴史民俗資料館運営事業	○市域の考古、歴史、民俗等の資料の収集・保管・調査・研究及び成果の公表 ○常設展示の実施 ○講座及び体験型事業の実施
6 郷土資料の収集・保存・展示★	○分散化した歴史的資料の集約化の検討 ○集約化に伴う新たな歴史文化施設の検討

3 市史編さん事業や地域史料の保存（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 市史編さん事業★	○市史刊行に向けた資料収集・調査等の実施 ○市史講座等の実施 ○市史研究誌「印西の歴史」の刊行 ○市史刊行物の頒布
2 地域史料の保存及び活用	○木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 ○古文書等の調査及び収集 ○古文書等の整理及び保存、活用
3 歴史公文書の収集、整理保管	○歴史公文書の引継、整理保管

Ⅳ 市民が生涯を通して学ぶことができるとともに、地域で子どもたちを守り育てる（生涯学習・青少年健全育成）

1 多様な学習機会の提供（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 生涯学習情報の提供	○生涯学習ガイドの発行 ○生涯学習ガイド冊子の内容を市ホームページで提供
2 市民アカデミーの充実★	○市民アカデミーの充実 ○公民館・地域交流館など公共施設を活用した事業の充実
3 公民館・地域交流館主催事業の充実	○市民ニーズや社会的課題をとらえた事業の実施 ○子どもから大人までを対象とした事業の充実 ○団体や行政等との共催事業の充実
4 生涯学習まちづくり出前講座の充実	○地域づくりにつながる学習機会の提供、市民参画のきっかけとなる生涯学習まちづくり出前講座の充実
5 産学官民の連携・協力	○大学などの高等教育機関や企業などとの連携・協力 ○市民・市民団体との連携・協力
6 社会教育関係団体の支援★	○社会教育関係団体の支援・連携強化 ○ボランティアの育成や地域で活動する個人・団体のネットワーク化の推進

2 図書館サービスの充実（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 図書館サービスの充実★	○資料の収集・管理及び提供 ○レファレンスサービス事業の充実 ○電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 ○利用しやすい施設のあり方の調査・研究 ○民話絵本の作成 ○図書の貸出窓口（コスモスパレットⅡ内）の開始
2 子ども読書活動の推進	○読書活動を深める機会の提供・充実 ○読書環境の整備・充実 ○読書活動に関する情報の普及・啓発

3 生涯学習施設の整備・充実（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 生涯学習環境の整備・充実★	○公民館や図書館の適正な維持・改修 ○生涯学習施設の充実 ○社会教育主事の配置 ○(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業の実施 ○小倉台図書館保全改修工事

4 家庭と地域の教育力向上と青少年の健全育成（★は、重点的な取組）

事業	事業内容
1 家庭教育学級の充実★	○各公立幼稚園・小中学校での家庭教育学級開設 ○家庭教育学級主事会議の開催 ○家庭教育学級運営委員研修会の開催 ○家庭教育指導員の配置
2 こども１１０番の家の推進	○こども１１０番運営委員会などの支援 ○こども１１０番ステッカー・看板の提供
3 青少年健全育成大会の実施	○社会を明るくする運動との共催による青少年健全育成大会の実施
4 地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業	○中学校区ごとに学校や地域で活動する団体が協力し、コミュニティづくりと生活環境の整備を図る地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の支援
5 コミュニティスクールの導入	○学校運営協議会の設置
6 放課後子ども教室の実施	○放課後子ども教室の実施
（令和７年度に市長部局から移管） 7 学童クラブ及び放課後児童健全育成事業の実施	○学童クラブ・放課後児童健全育成事業の実施
8 二十歳を祝う会の実施	○当該年度に２０歳となる方々の企画・運営による二十歳を祝う会の実施